

「子どもと子育てに関する調査」調査結果(概要版)

1 調査の目的

近年の出生数の低下、核家族化や都市化の進展や女性の社会参加など子どもと家庭を取り巻く環境が大きく変化している状況において、親と子が共に育ち合い、一人ひとりが安心と幸せを実感し、結婚から子育てに希望と喜びを持てる青森県づくりを進めていくための施策の基礎資料を得ることを目的として、5年ごとに実施している。

また、本調査で把握した県民の子育ての現状や結婚及び子育て支援に関する県民ニーズ等については、平成31年度に策定を予定している「のびのびあおもり子育てプラン」後期計画に反映させるものである。

2 調査概要

○平成30年度調査

- 1 調査実施地域 青森県全域
- 2 調査対象 0～15歳の子どもの親
20～39歳の独身者
- 3 標本数 子どもの親(2,000人)
独身者(20～39歳の県民
3,000人に調査票を送付)
- 4 抽出方法 住民基本台帳をサンプリング台帳
とした層化二段無作為抽出法
- 5 回収結果(有効回答のみ)
0～15歳の子どもの親 1,026(回収率51.3%)
20～39歳の独身者 579名の独身県民から回答
- 6 調査実施期間 平成30年10月15日～11月2日

○前回(平成25年度)調査

- 1 調査実施地域 青森県全域
- 2 調査対象 0～15歳の子どもの親
- 3 標本数 2,000人
- 4 抽出方法 住民基本台帳をサンプリング台帳
とした層化二段無作為抽出法
- 5 回収結果
0～15歳の子どもの親 1,091(回収率54.6%)
- 6 調査実施期間 平成25年9月30日～10月25日

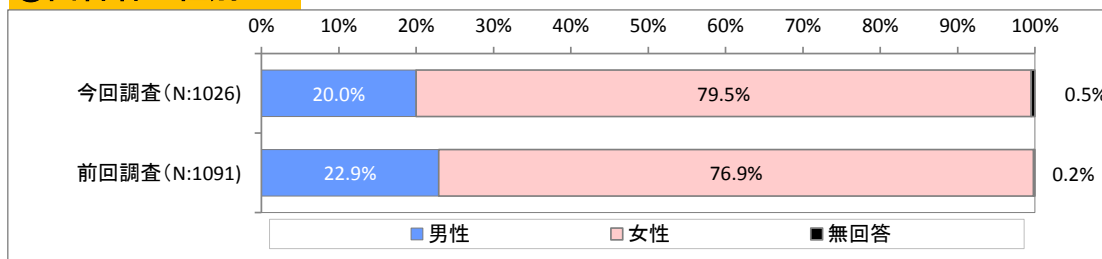
(調査項目)

回答者のプロフィール、理想の子どもの数・現実の子どもの数について、育児に関する意識について、子育て支援のための行政への要望等について、結婚に関する意識についてなど

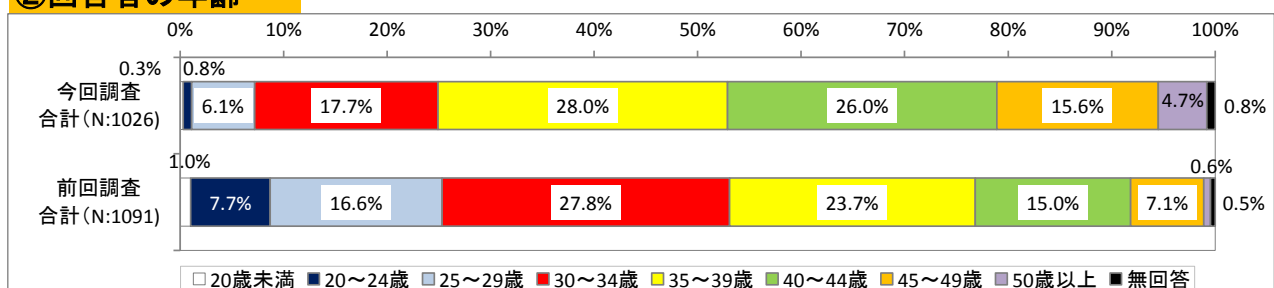
3 主な調査結果【子の親対象調査】

(1) 回答者のプロフィール

① 回答者の性別



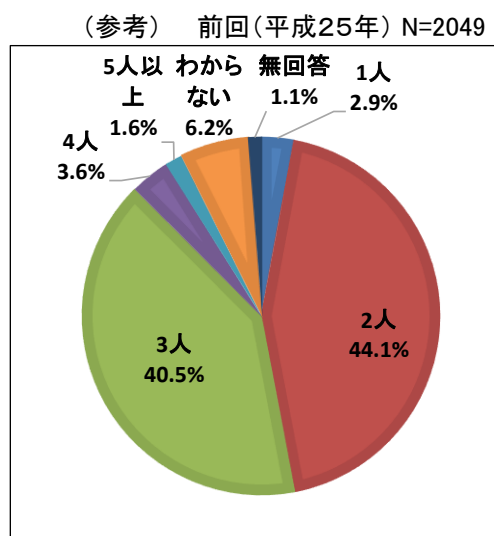
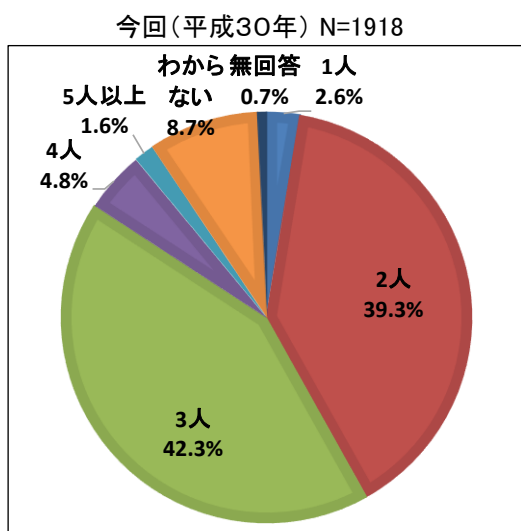
② 回答者の年齢



(2)理想の子どもの数・予定の子どもの数等

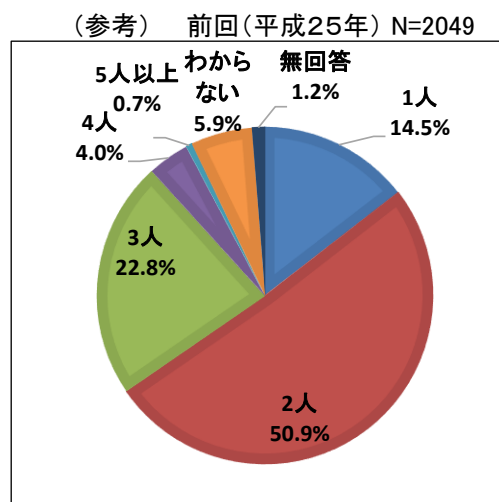
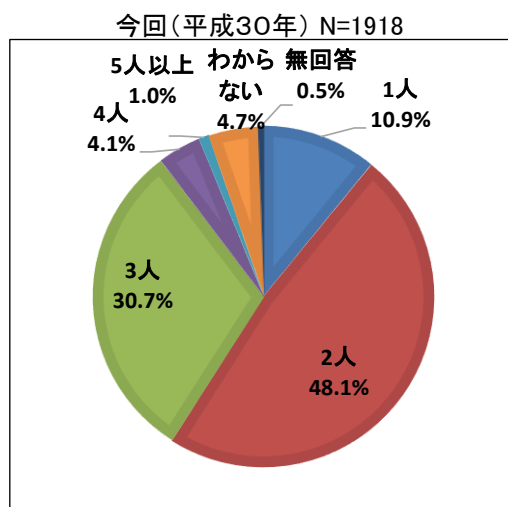
①理想とする子どもの数(1つ選択。回答者と配偶者の合計)

理想とする子どもの数は、「3人」が42.3%と最も多く、次いで「2人」が39.3%、「4人」が4.8%となっている。



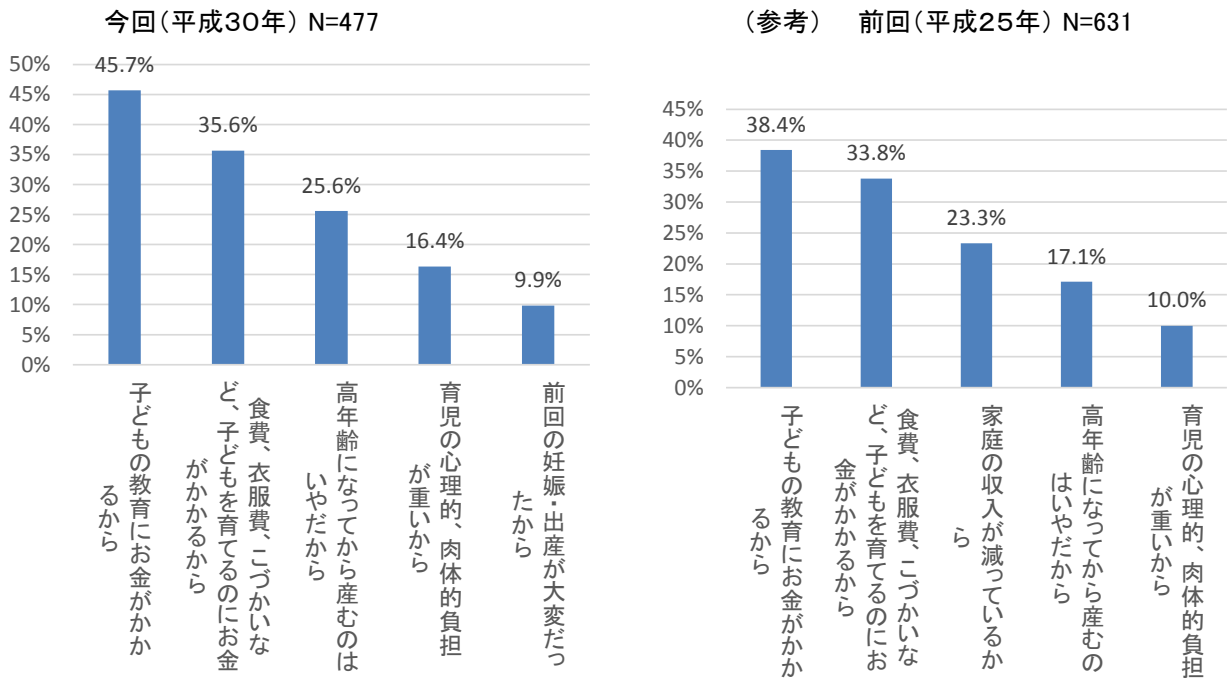
②予定の子どもの数(1つ選択。回答者と配偶者の合計)

予定とする子どもの数は、「2人」が48.1%と最も多く、次いで「3人」が30.7%、「1人」が10.9%となっている。



③ 予定の子どもの数が少ない理由(2つまで選択。回答者と配偶者の合計)

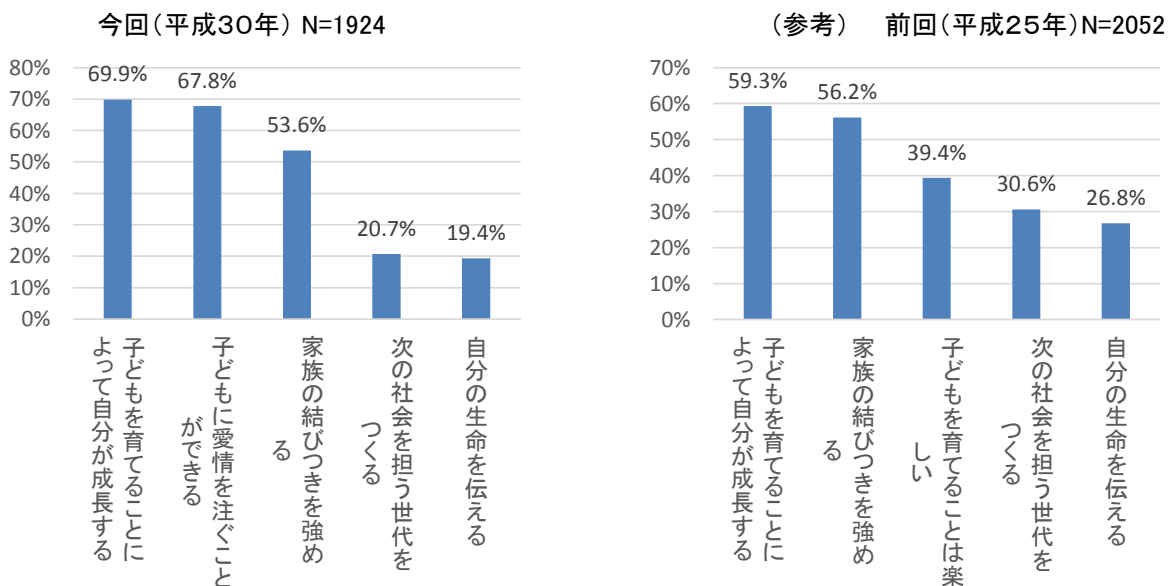
予定の子どもの数が少ない理由は、「子どもの教育にお金がかかる」が45.7%と最も多く、次いで「食費、衣服費、こづかいなど子どもを育てるのにお金がかかる」が35.6%、「高齢になってから生むのはいやだから」が25.6%となっている。



(3) 育児に関する意識について

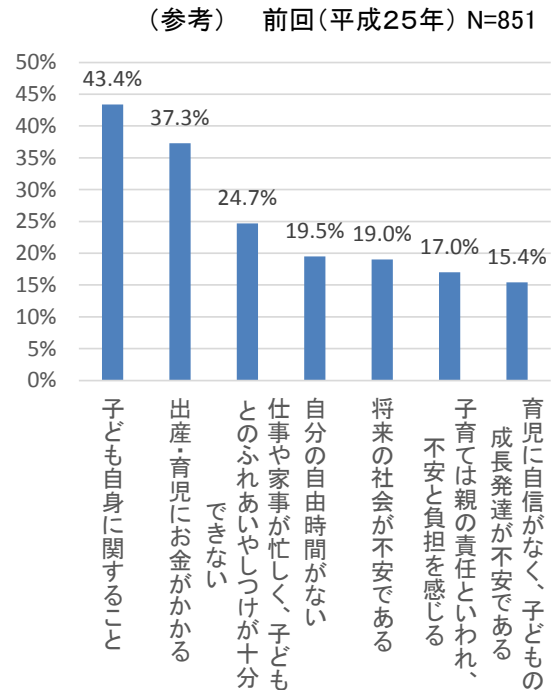
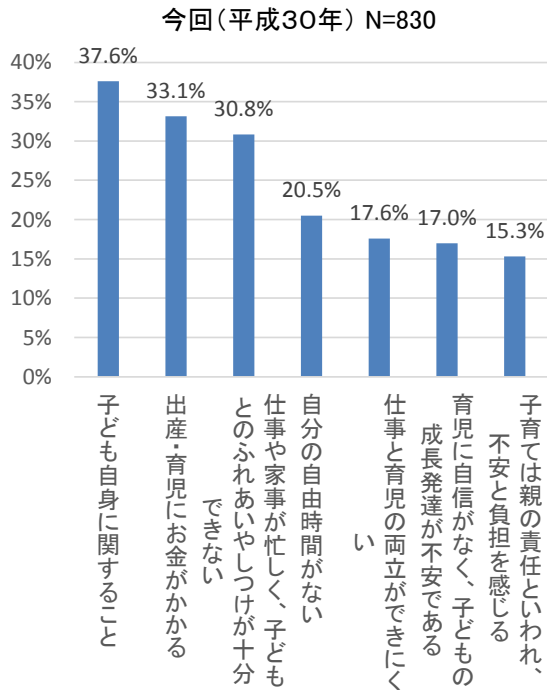
① 子どもを生み育てることの喜びや良さ(3つまで選択。回答者と配偶者の合計)

子どもを生み育てることの喜びや良さは、「子どもを育てることによって自分が成長する」が69.9%と最も多く、次いで「子どもに愛情を注ぐことができる」が67.8%、「家族の結びつきを強める」が53.6%となっている。



②子育てをする上での不安や悩み(3つまで選択)

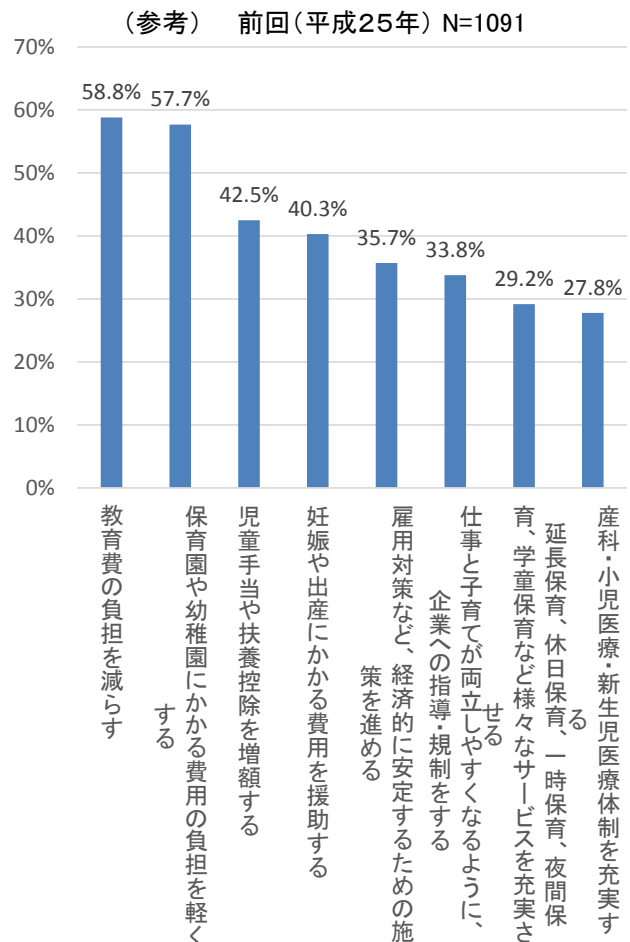
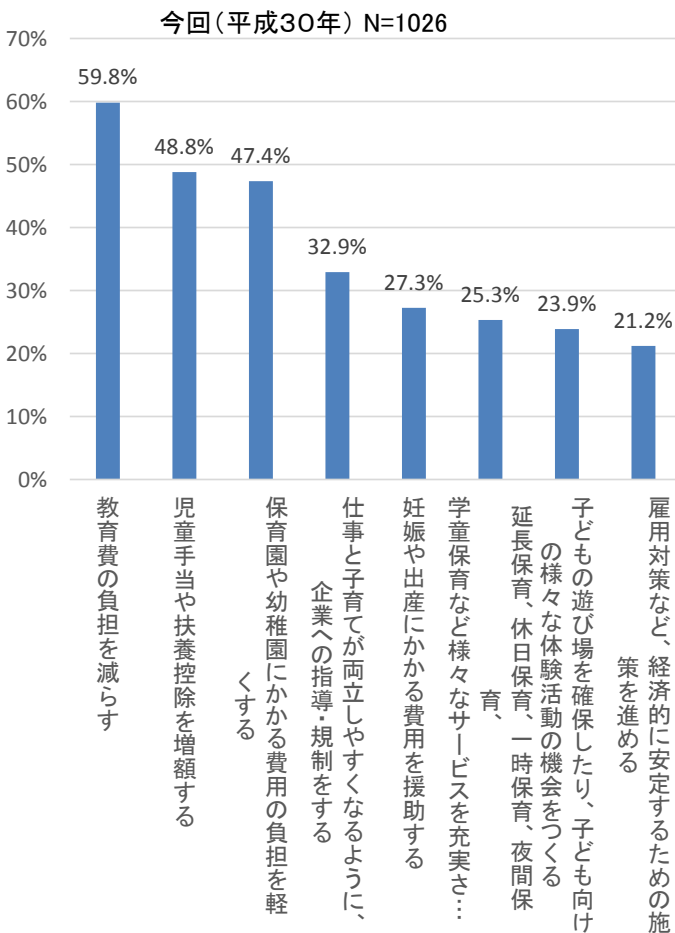
子育てをする上での不安や悩みは、「子ども自身に関すること(子どもの健康、勉強、性格やくせ、友人等)」が37.6%と最も多く、次いで「出産・育児にお金がかかる」が33.1%、「仕事や家事が忙しく、子どもとのふれあいやしつけが十分できない」が30.8%となっている。



(4)子育て支援のための行政への要望等について

国・県・市町村に期待する政策(5つまで選択)

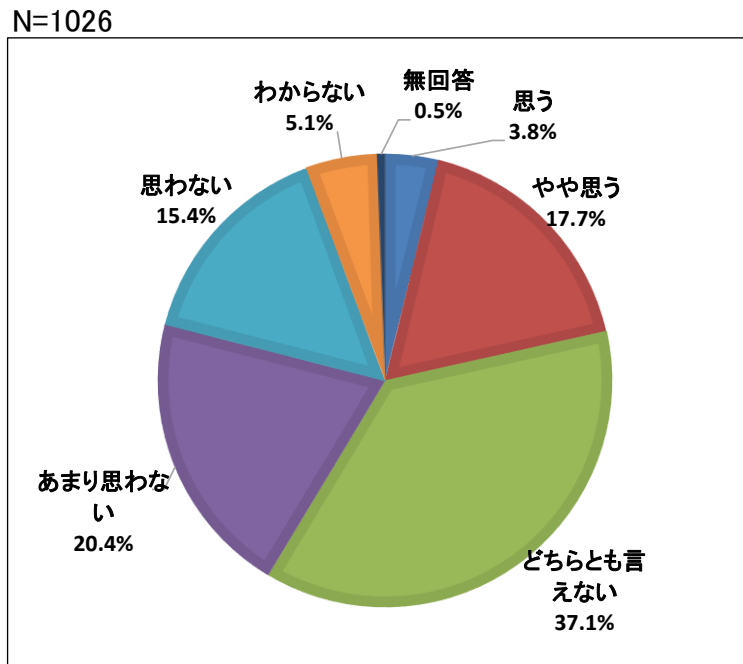
行政に期待する政策は、「教育費の負担を減らす」が59.8%と最も多く、次いで「児童手当や扶養控除を増額する」が48.8%、「保育園や幼稚園にかかる費用の負担を軽くする」が47.4%となっている。



(参考) 青森県の子育て環境について【新規項目】

○青森県は、子育てしやすい環境が整っていると思うか。

「どちらとも言えない」が37.1%で最も多く、「思う」と「やや思う」の合計が21.5%、「思わない」と「あまり思わない」の合計が35.8%となっている。



○自由記述-抜粋-

・「都会すぎず、田舎すぎない」これが青森県の持ち味だと思う。新幹線で3時間で東京へ行ける日帰り可能な距離は、都会へ住まずとも暮らせるということ。この持ち味を活かせば、青森で一生過ごすのは可能で、物価も安く、治安もよい子育てにはとてもよい環境といえるのではないのでしょうか。

・私は県外から来ましたが、青森県は育児をする上で良い場所だと思う。しかし、外からはその魅力が伝わってこない。観光や産業だけでなく、育児や教育においても良い場所だという外へ向けた発信も重要だと思う。

・ただでさえ、人口減少率が全国トップクラスの青森県。「短命県返上」よりも、県全体で子育てしやすい環境日本一を目指した方がいいと思う。言い方は悪いが、人はどれだけ長生きするかよりも、どれだけ死ぬときに幸せだと思えるかではないだろうか。どんな世でも子供が笑顔でいる世は、いい世の中でいい地域だと思う。子供が笑えば大人は大変でも大人も笑顔になれます。良い青森県を作るのが県職員の本分です。志を持ってがんばってください。

・子どもを産み育ててみて、とても大変だと感じている。このことが先にわかっていたら、私は結婚も出産もしなかったと思う。少子化を食い止めたいのであれば、本気の改革が必要だ。

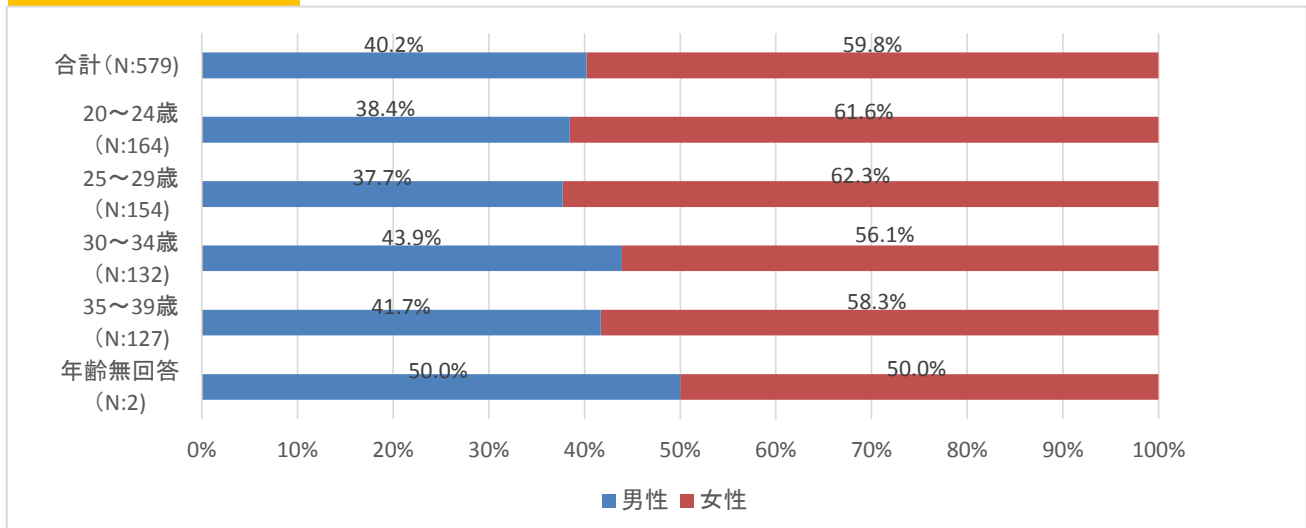
・子育てや母子家庭を助ける機関や市役所などに行けば、色々な情報や冊子はあるが、ほぼ情報が入ってこない。知らずに損をしている部分が多くあるような気がする。

・地域に子供がいないので、数十年後には、私たちが住むような小さな町・村は無くなります。大胆な施策をしないと子育て以前に、地域が存続できなくなると思う。出生率を上げない限り、青森県に未来は無いと個人的には感じている。

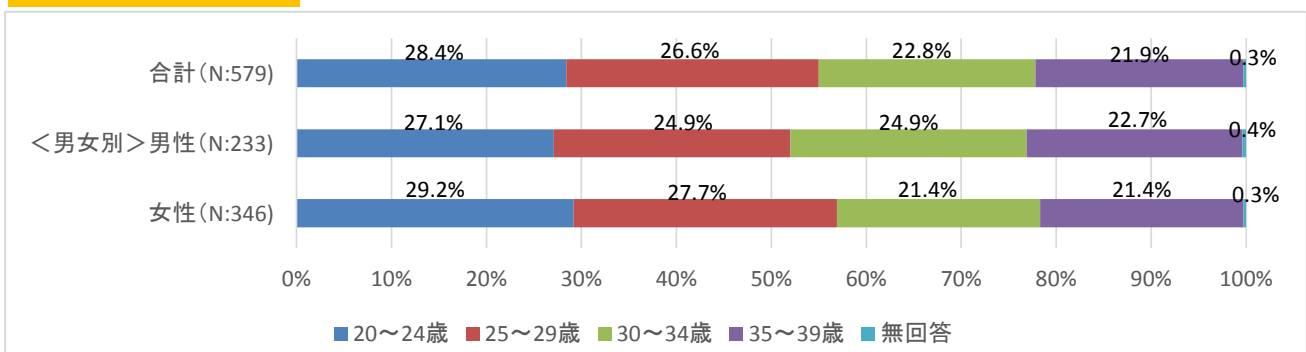
4 主な調査結果【独身者対象】

(1) 回答者のプロフィール

① 回答者の性別



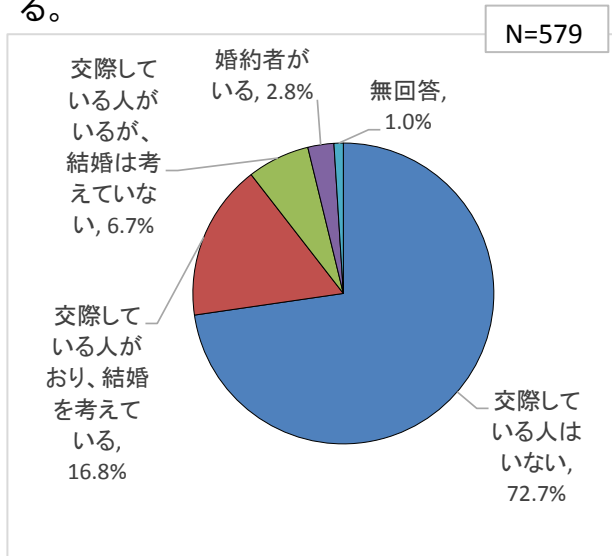
② 回答者の年齢



(2) 交際に関する意識・実態

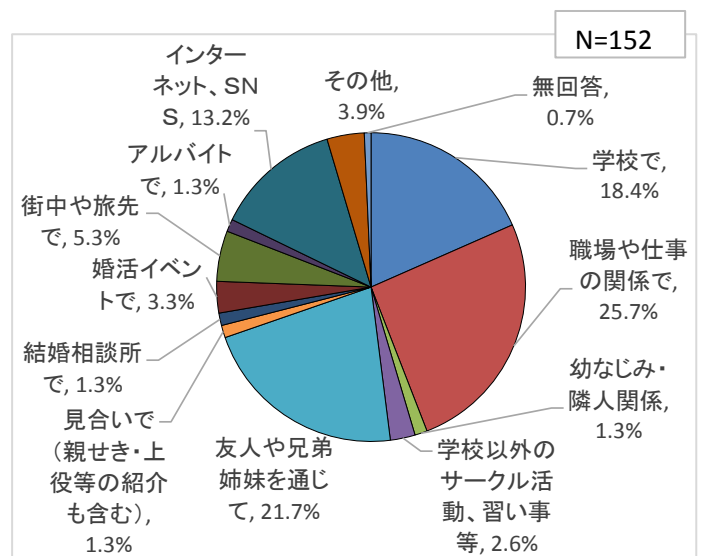
① 交際状況

「交際している人はいない」が、72.7%で最も多く、次いで「交際している人がおり、結婚を考えている」が16.8%、「交際している人がいるが、結婚は考えていない」が6.7%、「婚約者がいる」が2.8%となっている。



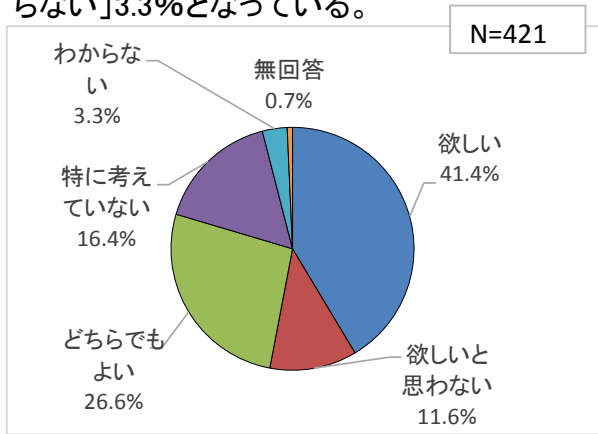
② (交際している人) 交際のきっかけ

「職場や仕事の関係で」が25.7%で最も多く、次いで「友人や兄弟姉妹を通じて」が21.7%、「学校で」18.4%、「インターネット、SNS」が13.2%となっている。他の項目については5%以下となっている。



**③(交際している人がいない人)
交際相手が欲しいと思うか。**

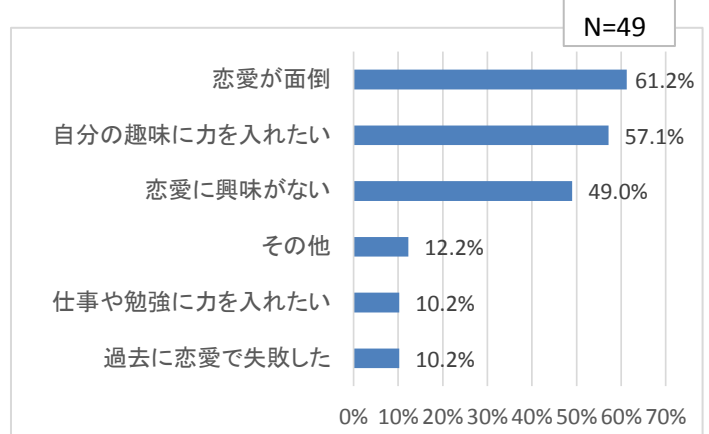
交際相手が「欲しい」が41.4%、次いで「どちらでもよい」26.6%、「特に考えていない」16.4%、「欲しいと思わない」11.6%、「わからない」3.3%となっている。



④(交際している人がいなく、交際相手が欲しいと思わない人)

**交際相手が欲しいと思わない理由
(3つまで。上位6項目)**

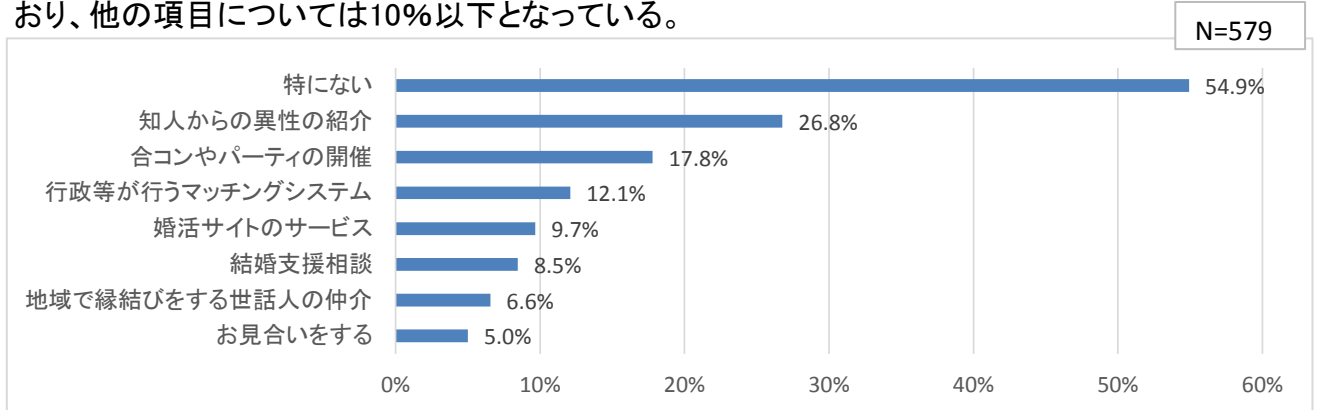
「恋愛が面倒」が61.2%、次いで「自分の趣味に力を入れたい」57.1%、「恋愛に興味がない」49.0%となっており、この3項目に集中している。



(3) 結婚活動に関する意識・実態

①結婚活動における必要なサポート(3つまで。上位8項目)

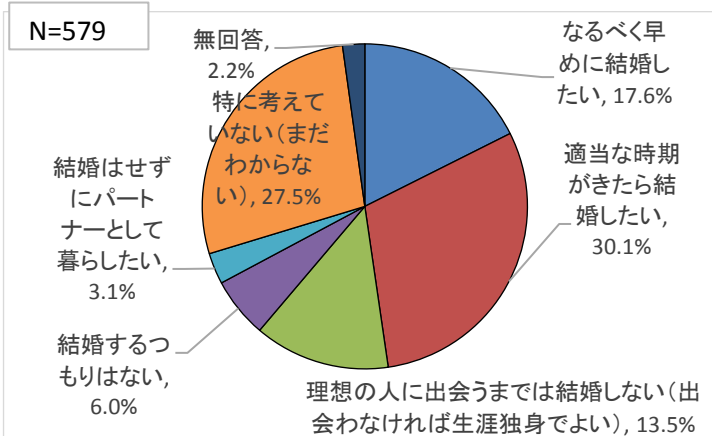
「特にない」が54.9%で最も多く、次いで「知人からの異性の紹介」が26.8%、「合コンやパーティの開催」が17.8%、「行政等が行う結婚支援のためのマッチング(お見合)システム」が12.1%となっており、他の項目については10%以下となっている。



(4) 結婚に関する意識

①結婚に対する希望

「適当な時期がきたら結婚したい」が30.1%と最も多く、次いで「特に考えていない(まだわからない)」27.5%、「なるべく早めに結婚したい」17.6%、「理想の人に出会うまでは結婚しない(出会わなければ生涯独身でよい)」13.5%となっている。



②(結婚したいと回答した人)

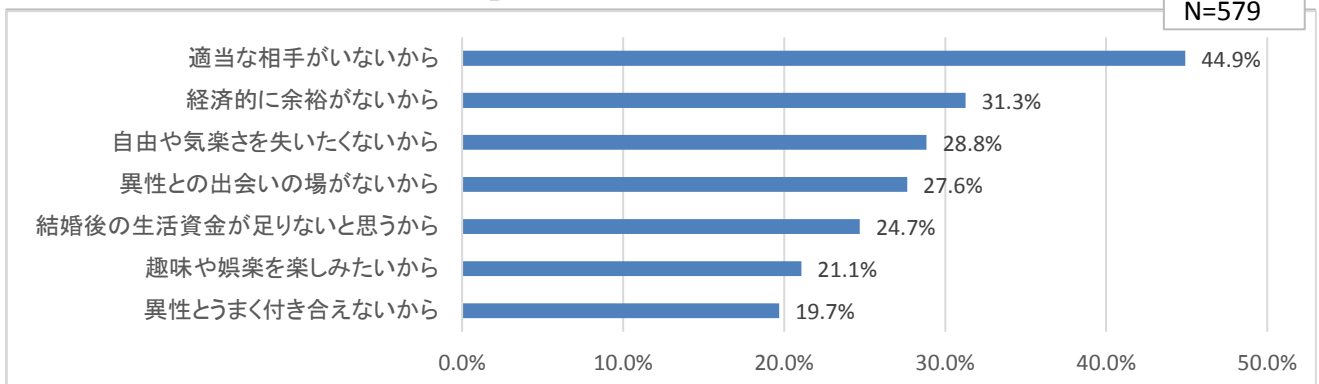
結婚希望平均年齢

「なるべく早めに結婚したい」を選択した場合の結婚希望平均年齢は、全体では30.7歳となっている。年代別では、「20~24歳」が25.3歳で年代が上がるにつれて結婚希望年齢も上がっている。

	なるべく早めに結婚したい	適当な時期がきたら結婚したい
男性	32.3歳	31.6歳
女性	29.7歳	29.9歳
20~24歳	25.3歳	27.1歳
25~29歳	29.2歳	29.7歳
30~34歳	34.0歳	34.4歳
35~39歳	38.7歳	40.4歳
平均	30.7歳	30.6歳

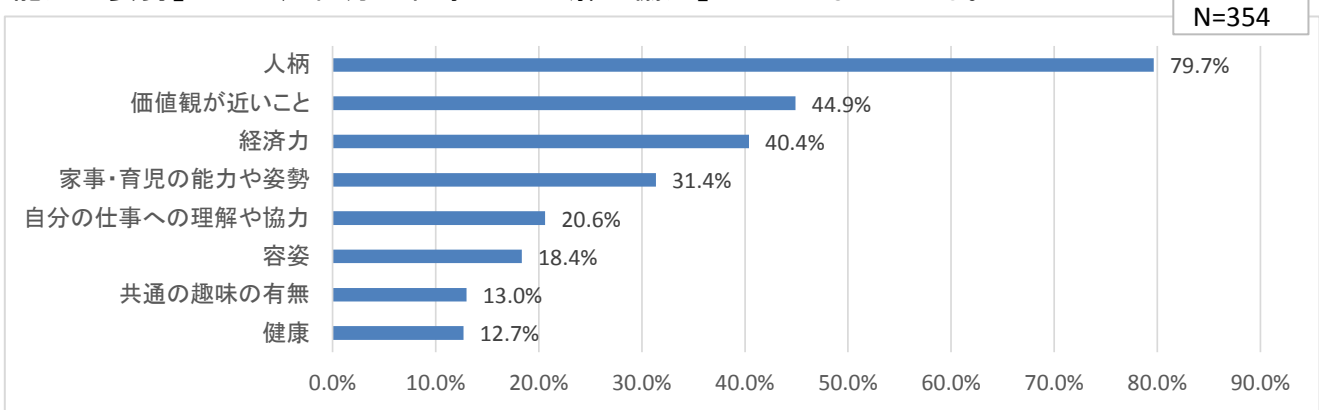
③結婚していない背景(5つまで、上位7項目)

「適当な相手がないから」が44.9%で最も多く、次いで「経済的に余裕がないから」が31.3%、「自由や気楽さを失いたくないから」が28.8%、「異性との出会いの場がないから」が27.6%、「結婚後の生活資金が足りないと思うから」が24.7%となっている。



④結婚相手に求める条件(3つまで、上位8項目)

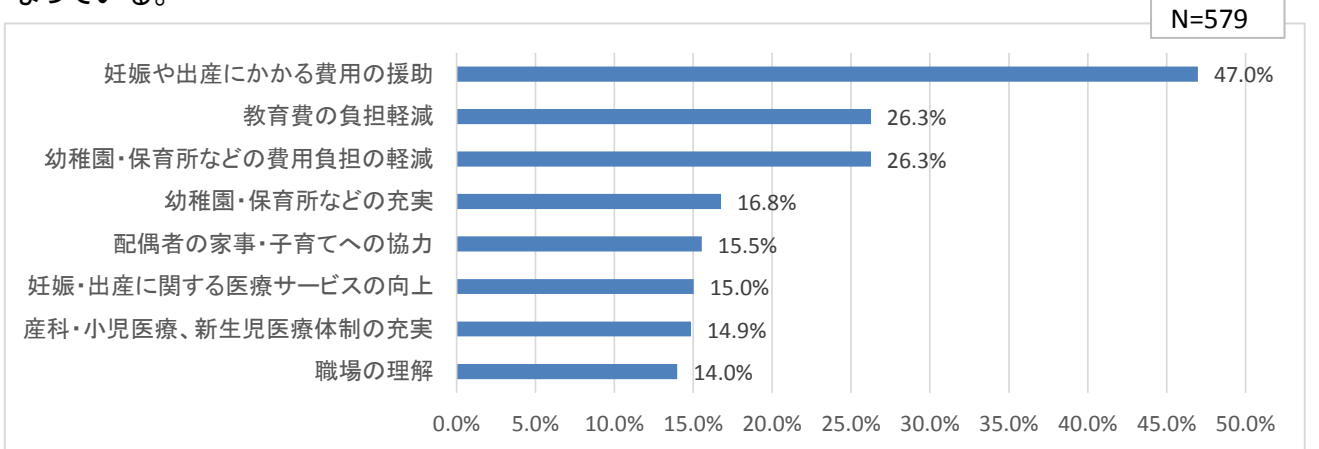
「人柄」が79.7%と最も多く、次いで「価値観が近いこと」44.9%、「経済力」40.4%、「家事・育児の能力や姿勢」31.4%、「自分の仕事への理解や協力」20.6%となっている。



(5) 妊娠・出産に関する意識

①将来の出産及び子育てに必要なと思うサポート(3つまで、上位8項目)

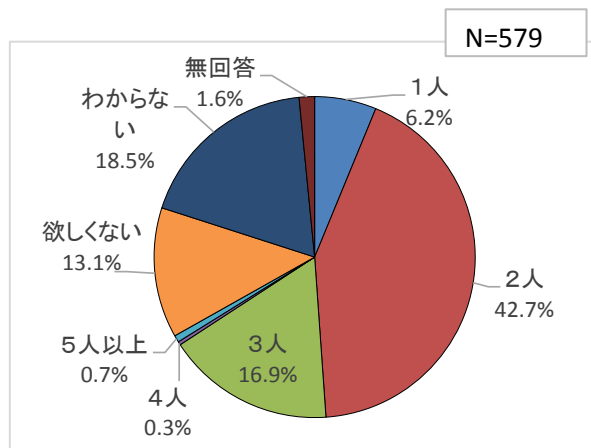
「妊娠や出産にかかる費用の援助」が47.0%、次いで「教育費の負担軽減」、「幼稚園・保育所などの費用負担の軽減」がともに26.3%、「幼稚園・保育所などの充実」16.8%、「配偶者の家事・子育てへの協力」15.5%、「妊娠・出産に関する医療サービスの向上」15.0%、「産科・小児医療、新生児医療体制の充実」14.9%となっている。上位3項目は、妊娠から教育までの費用に関する項目となっている。



(6) 子どもに関する意識

① 欲しい子どもの数

「2人」が42.7%、次いで「わからない」が18.5%、「3人」が16.9%、「欲しくない」が13.1%、「1人」が6.2%となっている。



② 理想的な第1子の出産年齢

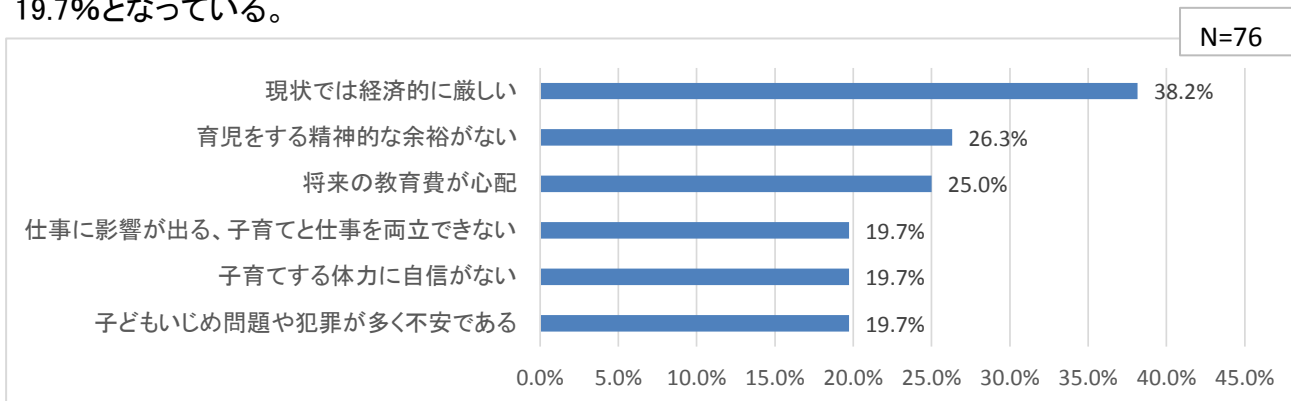
全体では、28.4歳となっており、男女別では、男性が29.8歳、女性は27.5歳となっている。

年代別では「20～24歳」27.1歳、「25～29歳」、
「30～34歳」がともに28.8歳、「35～39歳」が29.8歳で年代が上がるにつれて、理想的な出産年齢も高くなっている。

	男女計	男性	女性
合計	28.4歳	29.8歳	27.5歳
20～24歳	27.1歳	28.0歳	26.6歳
25～29歳	28.8歳	30.0歳	28.1歳
30～34歳	28.8歳	30.9歳	27.1歳
35～39歳	29.8歳	30.5歳	29.0歳

③ (子どもを欲しない人) 子どもが欲しくない理由(3つまで、上位6項目)

「現状では経済的に厳しい」が38.2%で最も多くなっている。次いで、「育児をする精神的な余裕がない」が26.3%、「将来の教育費が心配」が25.0%、「仕事に影響が出る、子育てと仕事を両立できない」、「子育てする体力に自信がない」、「子どもいじめ問題や犯罪が多く不安である」がともに19.7%となっている。



④ 子育てで不安に思うこと(3つまで、上位6項目)

「経済的にやっていけるか」が58.7%で最も多く、「子育てするのが大変そう」48.0%、「子育てに自信がない」31.4%、「精神的な面で子育てができるか」24.2%、「仕事に影響が出そう」21.9%となっている。

